

2008年（平成20年）

12月31日（水）

平成の時代になって20年目の年の瀬。アメリカの経済破綻は、日本にも及び「未曾有」の経済危機が到来。福田首相の辞任を受けて麻生首相の誕生。阪神タイガース優勝かと期待していたら失速。

京都は、寒い京都市長選挙から始まり、3期12年の榊本市政から951票差での門川大作前教育長の薄氷の勝利。3月市会では代表質疑、4月には経済総務委員会副委員長に就任。5月は政務調査費問題で四苦八苦。門川新市政の肉付予算審議とキューバからチェ・ゲバラの娘、アレイダ・ゲバラさんを招き講演会。6月は加藤登紀子さんのヒューマンふれあいコンサート、7月は経済総務委員会と議員団での他都市調査、8月は市政懇談会と北京オリンピックで朝原選手らリレーチームが銅メダル。9月は公営企業決算の定例会、後期高齢者医療制度廃止の意見書を民主、共産で可決！10月は地元吉田のまつりで京大時計台前を巡幸。ぼくは剣鋒を差し、神が降臨し甦った。鴨沂高校同窓会も会長として無事に終え、11月は解散・総選挙か？とやきもきする中での議員団の予算要望作成と12月は一般会計決算の審議と定額給付金に関する意見書を可決した定例会と、今年一年走り抜けた。

京都市は来年度予算の編成も財源不足で補助金のカットや市民負担が増えそうです。京都にとっても困難な時代になりました。

わが家では、愚息が奇跡的に夢を果たして法曹への道を歩み始めてほっと一息。両親も元気に年を越せ、ぼくは、新年1月13日が還暦の誕生日。みなさんのご支援を心に刻んで、団塊の世代もうひとふんばり！と決意をしているところ。

12月30日（火）

事務所で終日資料整理、夕方、行き付けの「ひげ床」で散髪。だいぶ伸びていたのですっきりした。偶然、愚息も来ていてびっくり。親子で散髪もいいか。いつものようにマッサージもしてもらってリラックス。

夜は、恒例の聖護院消防分団の歳末警戒の打ち上げに呼ばれてわいわい。吉川文一分団長は同級生。聖護院ではこの3年近く無火災が続く。左京区の火災件数は17件。昨年より3件減。数年前までは30件を越えていた。そして京都市内では、昨年231件だったのがなんと197件！大記録の達成だ！これも京都の消防局、消防分団、自主防災会など日常的な防火・防災活動の賜物だろう。ほんまにご苦労さん。てんぷら、タバコには気をつけよう！

12月29日（月）

昼前、事務所にてとある作業所の今後の運営のことについて相談会。関係者が集まって利用者のためにどういう方向性を示すのか、色々と論議。自立支援法が施行されて以来、作業所の運営も色々と考えないかんことが多いのだね。また福祉に関わる人たちの熱い思いを受け止めて、福祉施策を後退させてはならないと実感。

午後は、事務所にて溜まった行政資料に目を通しながら資料などの整理。捨てるもの、残しておくものの選別がたいへん。またこの1年の相談ごとのファイルなども点検。来年に持ち越すものもあるし、推移を見守るものもある。今年も色々な相談ごとがあったよ。

夕方、わが鴨沂高校の一年後輩の日本画家清水信行君の京都の風景を描いた素敵なカレンダーを友人にプレゼント。

12月28日（日）

消防団回りも一段落してほっと一息。ぼーとテレビを見る。「新婚さんいらっしやい」はこの1年に出演したユニークなカップルが再登場したのだが、海外青年協力隊の青年と可愛いタンザニア女性のエピソードは、秀逸であった。タンザニアから花嫁のお母さんが初めて飛行機に乗ってやってきたのだ。そして舞台上で孫たちと感動の再会。一服の清涼剤だった。

夕方は、ヒューマンふれあいコンサートの運営委員のメンバーが集まって餅つき。終わった頃に出かけて行って静岡名物のハンペンをつまみに談笑。加藤登紀子さんのコンサートを成功させた余韻もあり、舞台や舞台裏のドキュメントのビデオが上映された。ぼくもインタビューに答えていたが、舞台の機材を運んだり、一輪の花束を作ったりの作業もあり、また百万本のバラを唄う舞台の様子はよかった！今年のぼくの重大ニュースの一つやね。来年もやりますか？

12月27日（土）

朝、6時過ぎに起床。久しぶりの早起き。鴨沂高校の先輩等が参加されている国益研究会というグループの勉強会に初参加。それぞれが3分間スピーチをされた後、塗師の田中邦昭さんが新年を迎えるに当たって正月の諸々の由来について報告。正月とは、家に「歳神様」を迎え祝う行事とのこと。門松とは、神さんを招く目印で、鏡餅とは豊作をもたらす五穀豊穰を守る歳神様へのお供えだそうだ。正月を迎えるに当たってええ勉強をさせていただいた。

午後は、民主党2区総支部の選挙対策委員会。前原誠司議員の必勝に向けて10月に

発足させたが、なんのことはないどうやら来年の春になりそうだ。中だるみと言うか、気持ちが萎んでいっていると役員の方。連合京都の関係者は、景気が悪くなってメーカーの工場のラインが止まり始めていていると報告。選挙どころではないという雰囲気だが、とにかく政権を変えなければなんともならない。気合を入れ直して年明けからのがんばるぞ！

夕方は、消防団回りの3日目。前原議員、北岡議員と一緒に地元の吉田からスタートして、新洞、川東、聖護院、岡崎、錦林東山、浄楽、養正を回り切る。女性団員さんも数名。歳末の忙しいときに頭が下る。今年の京都市内の火災件数は200件を切っている。快挙達成がなりそう！消防職員の消防団員のみなさん、ほんまにご苦労さん。最後には例によって養徳分団にお邪魔して名物のスタミナうどんをご馳走になる。帰途「ぐるぐるカフェ」にてサンマの燻製を肴に熱燗を一献。

12月26日（金）

朝目覚めたら小雪が舞っている。初雪だ！大文字山も薄っすらと雪化粧した昼、今年最後の吉田歯科でゴリゴリと歯石を取ってもらう。午後は挨拶回りを数軒。色々とお世話になりました。事務所への来客は動物園の職員。今年は虎に飼育係に噛まれて亡くなるという悲しい事件があったが、なんとか立ち直って欲しい。今後の整備計画や新しいロゴマークが出来たとの説明を受ける。がんばってよ。夜は北岡ちはる副議長と一緒に区長、団長、署長らの一行と一緒に消防団回りの二日目。今年の夏に京都市消防団総合査閲で優勝した北白川分団を皮切りに、養徳、松ヶ崎、葵、下鴨分団を激励。ホカロンを足裏や腰に貼り付けて寒さ対策をしてが、寒くて手がかじかむ。地元の自主防災会のメンバーや養徳と松ヶ崎では少年消防クラブの小学生たちも参加。

寒い中、ほんまにご苦労さまです。

12月25日（木）

午前10時に市役所前から、民主・都みらい議員団で2005年に京都市へ編入合併された右京区は京北へ。バスでおよそ1時間ちょっと。京北は寒かった。木の香りが素晴らしい京北第一小学校を見学。川べりにあるランチルームはまるでホテルのよう。また旧京北町の庁舎だったところは右京区の出張所になっているが図書室も完備され、隣にはウッディ京北という林業振興のための施設も見学。そして京北病院も視察。京北は人口6千人。高齢化率は30パーセントを超える、林業のまち。石浦前町長ら自治振興会の役員さんたちと懇談。栗尾トンネルの開通が大きな課題。市役所に戻ったのは夕方5時を過ぎていた。

夜は、年末恒例の消防団回り。市原野からスタートして鞍馬、静原、大原、八瀬、上高野、修学院、修二消防分団を梅景左京消防分団長、荒木左京消防署長、そして波部左京区長らと一緒に回る。このところ暖かい日が続いていたが、急に寒くなった。消防団のみなさんもたいへんだ。左京区は今までのところ火災件数は17件。昨年より3件の減。誇るべき記録！激励を終わったのは10時を過ぎていた。下鴨の九州ラーメン「博多っ子」でラーメンを食べ、近所の「キャラバン」で熱燗を一杯。ようやく体が温まった！

12月24日（水）

昼前、北白川にある有料老人ホーム「いのちの花協会」の「花の家」にて代表の宮田さよ子さんの手づくりのカレーを食べに行く。看護師だった宮田さんが高齢期のタ

一ミナルケアを発足されたのは95年のこと。介護問題のプロとして本も出されているが、介護のことで色々と勉強をさせてもらっている。日々の活動等お年寄りのケアをされている様子を伺う。ぼくのお袋も今は元気だが、いずれはここで世話になりたいと思っているようだ。それにしても介護保険制度はややこしいのだな。午後、鴨沂会館に同窓会の大先輩、西尾さんと訪問。鴨沂高校の同窓会事務局の今後の運営のことなど相談。夕方、事務所で雑務。今夜はクリスマスイブ。ふと思い立ってわが娘が世話になったペスタロッチ保育園の錦林教会に。同志社の神学部出身の糸井国雄牧師とも長い長い付き合い。教会の青年たちの聖歌隊の歌を聞きながらクリスマス気分。帰途、昨年友人がオープンしたカフェ「ガット」で夕食。閉店するというところで残念。

12月23日（火）

天皇誕生日。週刊誌の新聞広告を見ていると皇室のみなさんも大変だね。事務所で資料整理や年明けの新年会の案内などに眼を通し、新しい市会手帳に書き込む。元旦は吉田神社の歳旦祭から始まって5日の中央市場初市式から仕事始め。夜は連日の新年会や組合の旗びらき。胃力と肝臓力が勝負のいつもの年明けになりそうだな。

夕方、トステムという機能性の高い住宅を建設している会社の京都スーパーウォール会のクリスマスパーティ。この時代に関係者やお客さんらが500人ほどの集まり。寺田バレエの美女たちが華やかに舞い、「ノスタルジックス」というオールデイズのバンドが演奏。素敵な女性ボーカルもいるが、親方のサリーことリーダーの米谷さんは測量士さんだったかな、元気なおじさんバンド。舞台狭しとハッスル。不景気をぶっ飛ばせと盛り上がった。

12月22日（月）

今年最後の経済総務委員会。まずは総務局から「京都市国際化推進プラン」が完成したので報告。「多文化が息づくまちを目指して」がサブタイトル。1978年だったか京都イングリッシュセンターのスタッフとして仲尾宏さんらと留学生問題について調査をしたことがある。当時、京都の留学生は300人ほどだった。内なる国際化や多文化共生という言葉もなかった。あれから30年か。国際交流会館も拠点として様々な取り組みを進めているし留学生は4000人を超え、在日コリアンの人たちも含む市内在住の外国籍市民は4万人。外国籍市民懇話会も10年ほどになる。世界文化自由都市宣言が発せられて30年。少しはその理念を実現したか？そんな想いを込めて、ニューカマーのことなど質問をした。

職員不祥事問題もあったが、前の晩に飲酒をして昼にアルコールが検出されて停職になった職員がいるのだが、これは厳しい。飲みすぎた翌日には車に乗れないぞ！  
自戒！

総合企画局からは、「木の文化を大切にすまちな・京都」市民会議の設置の報告。「平成の京町家」や「森と緑」と「CASBEE 京都」検討プロジェクトチームができるのだが、ぼくの持っていた委員会資料には CASBEE の英語の説明がなかったから、英語では何んと言うのかと質問をしたところ、向かいに座っている委員から書いたあるぞ、と声がかかる。ほんまかいな、と別の資料を見たら書いてあるやないか。実は、広報資料でもらっていたものには「Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency 建築物総合環境性能評価システム」と長ったらしい名前が書いてあった。おかしいな、と思いつつ里山のことについて質問を続け

たが、休憩時間に担当の地球環境政策監が、委員会資料には書いてありませんでしたと謝罪に。しっかり資料は作ってや！たのみませ！

産業観光局からは、京都市緊急経済・雇用・生活対策本部が設置されたことが報告される。中小企業融資制度や雇用関係助成金、市民生活相談などセフティネットの取り組みなどするということだが、歳末特別生活資金貸付事業は、去年が1153件だったのが、今年は3日間ですでに去年を上回っているのだ！これから市民生活にどのような影響が及ぶのか、また自治体がどう市民生活を守る事出来るのか、なんとかせないかんぞ！

委員会終了後、議員団室のわが机に溜まった資料の整理など。夜は友人とひっそりと忘年会。

12月21日（日）

ちょっと小雨模様。京都の冬の都大路を走りぬける高校駅伝の日。女子はテレビで観戦。男子は、東山近衛で声援を送る。テレビ中継には映らなかったカナ？1月の女子駅伝も楽しみ。

午後は、鴨沂会の理事会。鴨沂高校への教育助成金のことや今後の運営について協議。夕方は、日曜日だというのに事務所で雑務。

12月20日（土）

小春日和の朝、正月を控えて、わが地元のコンビニ前の近衛広場の草引き。「近衛ひろば・みどりの会」や老人クラブ「寿会」のメンバーなど近所の人ら20人ほどが集まって心地よい汗を流す。毎年3回ほど近所のみなさんのボランティアで実践中。

午後は、京都サイクリング協会の役員があるイベントのことで相談。年明けにでも



発表されるだろうが、環境問題を訴えて、京都の町を自転車で走るといふ。詳細はいづれ。

それから民主党京都府連の今年最後の常任幹事会。結局、解散・総選挙はなかった。「蛇の生殺し」とでもいうことか、気が抜けたね。各陣営、引き締まっていこう。宇治の市長選挙と同時に行われた補欠選挙で真田議員が当選を果たして6区のメンバーは意気軒昂、宇治市議会では民主党が与党第一党になった。なお2月には定期大会が開催予定。

夜は、わが吉田剣鋒保存会の忘年会。なんといっても今年の最大の思い出は、剣鋒を差せたこと。そして吉田のまつりが、京大総長、京都市長らにご臨席いただき京大正門前にて巡幸したこと。これからのわが人生、剣鋒を本格的に差せるようになりたいと決意。剣鋒仲間がワイワイ。久しぶりに痛飲。

12月19日（金）

2ヶ月ぶりぐらいに歯医者でゴリゴリ。久しぶりの快感。

午後は、左京区合同福祉センターにて左京区介護予防教室を見学。市田哲郎先生の講演と体験談など。わが事務所1階のカルチャーガーデン「吉田の森」でも夏以来教室が開講されて、ご近所の方が週一回熱心に来られていて

元気になられている。65歳以上の方に指導員による各種の運動や栄養改善をすることで介護予防を図るといふ試み。地域介護予防推進センターのみなさんががんばっておられる。ぼくもそのうち参加しないかんね。

夕方、某作業所の今後の運営を巡って関係者と相談会。利用者のニーズに応じてどう今後運営していくのか考えよう

夜は、消防関係者のメンバーと懇談会。今年は、京都市の火災件数が200件にまだ達していなくて、昨年よりも20件ほど少ない。記録的な減少！全国で一番少ない火災件数だ。防災のこと、消防団のこと、危機管理のことなどそのご苦勞を聞く。市民の安心・安全のために今後がんばって！

12月18日（木）

京都市立音楽高校新校舎の安全祈願祭と起工式。堀川御池の城巽中学校跡に西京区の大枝から移転する為に新校舎が建てられることになった。京都市立堀川高校音楽過程として創設されたのは昭和23年のこと。音楽高校として多くの音楽家を育ててきた。佐渡裕、ツトム・ヤマシタ、葉加瀬太郎さんらが卒業生。音楽ホールや芸大のサテライトギャラリーなども作られる。二条城近くの新しい名所になりそうだ。22年4月が竣工とのこと。3年生の女子のフルート演奏と男子生徒のピアノ演奏も素晴らしかったよ！

午後、ギャラリーヒルゲートでの丸木位里・俊・スマ展を覗く。京都で「原爆の図」を開催されたのは84年だったか。スマさんは位里さんのおかあさん。28日まで開催中。

夜は、とある大学で派遣職員として仕事をしている知人等と懇談。非正規雇用で大学は運営されているところが多くなっているようだ。そして冬休みに別のバイトを今年は探してもほとんどないそうだ。経済不況に襲われて京都の冬は一段と寒くなりそう。

12月17日（水）

本会議が終わってほっと一息。

午後、議員団室に。サイクリング協会のメンバーと大島地球環境政策監らと懇談。来年5月にサイクリング協会らが中心となってエコサイクリングの企画が進み始めてその内容や協力をお願い。詳細は年明けかな。京都議定書発効の地として大いに盛り上がればいいね。

その後、鴨沂高校へ。校長先生らと先の京都府教育委員会主催の学校評議員のワークショップの参加の感想や今後の高校通学圏の変更などにより鴨沂はどうするのか、色々と意見を述べて懇談。

その後は、事務所で雑務。

12月16日（火）

11月市会会期末の本会議。各委員会の委員長が審議された内容を報告する委員長報告が行われて議事が進んでいく。一般会計補正予算は全会派賛成して可決。市立病院のPFI方式による整備に関する債務負担行為の補正予算は共産反対、付帯決議をつけて可決。中央市場の委託手数料の届け出制、地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱いに関する条例は共産が反対、多数で可決。その他の議案については淡々と可決されていく。07年度の決算については、各会派が討論に立ち、ぼくは民主・都みらい議員団を代表して認定する立場で討論。予定していた文章をカットして、時間を短縮した。共産は決算認定せず。多数で認定。そしてノーベル賞受賞の益川敏英先生が名誉市民に。その後、意見書については、危険な気候を回避するために気候保護法の制定、原油・肥料・飼料の価格高騰に対して更なる対策、保育制度改革、雇用政策の拡充、安心の介護サービス確保の意見書は淡々と採択。そして問題の「定額給付金の見直しに関する意見書」をわが議員団の藤川議員が堂々と提案説明。共産

党から拍手、特に公明から野次。公明の吉田議員は芝居がかって反対討論。なかなかの役者や。そして共産の妹尾議員が賛成討論した後、起立表決。9月市会の高齢者医療制度反対の意見書を採択したときと同様、テレビカメラが回っている。民主14人、共産20での34人、一票差の賛成多数で採択された！そして最後に「京都の保育水準の維持拡充を求める決議」は全会派賛成して採択。午前10時から始まった本会議が閉会したのは午後1時前。腹減った！

夜、議員団の忘年会を兼ねた打ち上げ。紹興酒が美味しかった。

12月15日（月）

11月市会定例会もいよいよ会期末。先週末から意見書の調整が始まっていて担当の議員は右往左往。随時報告を受けながら対処を決めていく。またこの市会の懸案議案である地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱いに関する条例について関係者を議員団室に招いて懇談。また共産党は修正案を、自民党は付帯決議を提出してきた。わが議員団は、高裁判決を是として付帯決議を付けないで原案に賛成することに決定。また定額給付金を巡っての意見書については共産党も賛成するので民主・共産で一票差で可決されることになりそう。藤川議員が提案説明に立つことに決める。ぼくは普通予算決算特別委員会の委員だったので、07年度決算等を認定するをする立場で議員団を代表して討論に立つことになっていたのもその原案を提示、意見を出してもらい文章を仕上げる作業。また他介派から出されてきた付帯決議など検討などして、討論終了の委員会は遅くなるかなと予想していたが、午後5時過ぎには、常任委員会が始まり各会派委員会に付託されていた議案についての態度表明。普通決算特別委員会の討論終了の委員会も6時過ぎには淡々と終わった。

12月14日（日）

朝、わが母校で地元の第四錦林小学校に。吉田学区歳末恒例のふれあいもちつき大会。自主防災の委員さんや消防団、各種団体の人たちが奉仕。吉田名物は豚汁。美味かったよ。校庭には地震を体験できる起震車も置いてあって子どもたちが体験。午後は、事務所にて明後日の本会議にて07年度決算を認定することに議員団で決めたので、久しぶりにぼくが討論に立つことになったので、委員会の資料などに目を通して原稿書き。夕方は、ボーイスカウトの会で門川大作市長と語る会。市長はボーイスカウトの長年関わってきたということで野外活動の素晴らしさなどリラックスして講演。

12月13日（土）

ちょっとバテ気味。午後は同志社の今出川キャンパスに。総合政策科学研究科の同窓会「総政会」の役員会。名簿の発送作業と懇親会。鍋をつつきながら研究中のテーマなど四方山話。交通政策を勉強している人はなぜバスが定時に走らないのか、また友引に葬式を出さないのはなぜかとか、自治体職員とか教員とか議員とか多彩な人材を同志社の総政会会員。奥野史子さん、朝原選手、ラグビーの平尾、大八木選手等も修了生。

12月12日（金）

午前10時から議員会。自治労市職、京都交通労組、京都水道労組の委員長から給与カットのことで当局との交渉経過と今後の方向性など説明を受ける。

また19年度決算についての問題点や地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱い

いに関する条例の制定について、地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱いに関する条例の制定について対応をどうするか慎重に審議。悩むね。また昨日午後5時に各会派から意見書が提出されてきたので、方向性を議論。自民からは「危険な気候を回避するために気候保護法の制定を求める意見書など4本。共産からは、定額給付金の白紙撤回を求める意見書など5本、公明からは、安心の介護サービス確保を求める意見書が一本。そして保育行政のことで自民、共産から決議案がそれぞれ提出された。意見書の調整は担当議員に任せて随時調整の進行状況の報告を受ける。なんやかんやで6時まで議員団室に。嵐山花灯路のオープニングに経済総務委員会の一員として行く予定をしていたが、結局行けず残念。夜は、京都高野川ライオンズクラブ杯左京小学生バレーボール大会の実行委員会。今年は40チームの参加になりそう。スポーツ少年団の指導者やクラブの教員、また保護者の方が集まり、対戦相手の抽選や打ち合わせ。来年3月にこども体育館など5会場で開催される。

その後、下鴨の「チョキチョキ」という理容室での日系3世とアメリカ人女性の絵画展のオープニングレセプション。久しぶりに京都弁英語を喋り、ぼくが学生時代に雇われマスターをしていた喫茶「駱駝館」の定番メニューだったメキシコ料理のチリコンカルネを久しぶりに食べる。実に美味かった！

12月11日（木）

会期末を控えて、各会派が議員会を開催。理事から今後の日程などの報告の後、議員団として意見書提出をめぐって議論。雇用政策の拡充を求める意見書1本を提出することに。また定額給付金の事務的な流れや職員給与カットのことや保育園のプール制のことなど各担当者に来てもらってそれぞれ説明を受けて質疑。それから、各委

員会に付託されていた議案についての審議状況などについてそれぞれ議員から説明があって、問題点などを確認した後、賛否を決めていく。会期末の議員会のいつもの光景。15日の月曜日が本会議前日になり、討論終了になるのだが、9月市会のようにすんなり行かないだろうな。

夜は、京大会館で「鈴木マサホ市政懇談会」を開催。小雨模様にもかかわらず20人ほどの参加者。感謝。19年度決算の概要、また各委員会ではぼくが発言してきたこと、また京都未来まちづくりプランのことなど報告し、定額給付金のこと、コンビニの深夜営業の是非、左京区役所の移転問題、また同和行政のことなどご意見をいただいた。今後、委員会などで反映させていこう。

12月10日（水）

常任委員会は、まちづくり消防委員会と交通水道委員会。経済総務委員会の委員は、午前10時30分から「京都市伝統産業技術功労者表彰式」に出席。京都の伝統産業である西陣織、友禅、造園、漆器、茶道具、仏具、金網細工、清酒製造、京料理、漬物など、その道を極めた23人の匠が市長から表彰された。わが鴨沂高校山岳部の1年先輩の辻賢治さんは、金網細工で経験42年の匠。表彰おめでとうございます。京都の伝統産業はほんとに奥深い。後継者の育成も大きな課題。

午後は、福祉工房P&P西京極作業所へ。自閉症の青年たちが箱折や仏具の金箔をつくる作業などを黙々と作業をしている。近くの光華女子大学の社会福祉学科の佐々木ゼミの女子学生さんたちがボランティアで来ていただいている。活気がある。今後の運営のことで相談ごと。

夕方は、地域改善対策奨学金等の返還の債務の取り扱いに関する条例制定につい

て担当者から説明を受ける。同和問題の解決のためにということで、自立促進援助金が給付されてきたが、裁判の結果、違法であり返還を借受者に対して求めるということ。議案の取り扱いについて慎重に考えたい。

12月9日（火）

会期末を控えて付託された議案を審議する常任委員会が開催の日。経済総務委員会では、総合企画局に付託された議案は、京都市環境保全センター（エコロジーセンター）の指定管理者に京都市環境事業協会が選定されたので、エコロジーセンターの現状と今後のことなど質疑。理事者報告では、山間部における地上デジタル放送受信対策。左京区や京北の山間部で地上デジタル放送の受信ができない地域の対策として、共聴施設の改修や新設に所帯あたり3万5千円の補助をすると説明。この地上デジタル放送化のことは、ほんまに必要なのかようわからん。NHKの陰謀やないか、と思ったりする。また過日「骨子」が示されパブリックコメントが実施された「京都未来まちづくりプラン」案が提示、パワーポイントを活用しての説明。財政が危機的な状況下で、動物園の入場料の改定など市民負担になるもの、また保育園のプール制（京都独自の職員給与改善制度）の見直しや、イベントの廃止・統合や各種団体への補助金の見直し削減などのも明記されているので、ぼくも含めて各委員から質疑。今後予算編成に向けて大いに議論になる。請願の伏見消防署跡地等の活用の請願は審議未了で決着。総務局からは、給与カットの 条例。市長は15%から20%、副市長は10%から12%、課長級は5%のカットの提案。市役所職員自ら汗を流すということだが、職員や課長級も生活が大変だろう。議員の報酬についてもカットの対



象になるだろう。職員の処分についての報告も。

理財局からは、当せん金付証券（宝くじ）の発売についての議案説明と19年度のバランスシート・行政コスト計算書の報告。地下鉄・上下水道事業も入れた連結バランスシートでは、総資産合計は、4兆1632億円、市民一人当たり、300万円。産業観光局からは、卸売業者が出荷者に委託手数料が届出制になるという議案。ぼくは中央市場で働いていたことを述べて、この届出制がこれからの市場間競争のなかで機能するのはいささか心配をしているのだ。中央市場は市民の台所として、食の安心と生鮮食品の価格の安定が役割。しっかりたのみます。請願審査は、消費税増税方針撤回の要請。各会派で意見書を出すことで留保。4時過ぎに終わった。夕方、わが議員団の予算要望作成チームの打ち上げ。山岸事務長、中野洋一議員とスタッフの中野涼君とご苦労さん会。一仕事終えた心地よさ。ご苦労さんでした。簡単な冊子にするのでご入用の方はご連絡を。

12月8日（月）

10時から国の認証などによる補正予算を審議する普通決算特別委員会が二つの分科会に分かれて開催される。第2分科会では、建設局と消防局との審議。建設局は伏見区は納所の排水施設工事で被害を受けた民家に対する補償など。また消防局は、清水地域の文化財とその周辺を守る防災水利整備で、消防庁の補助金を充当して清水寺境内に耐震型防火水槽を整備する補正予算。淡々と進行する。午後は、久しぶりに議員団室で色々な資料を読んだり整理。

夕方は、久しぶりに聖護院の須賀神社で市政懇談会。ちょっと冷え込んだにもかかわらず15人の参加者。金屏風の前での市政報告。門川市政誕生以降の京都市政の動

きや19年度一般会計の決算概要と京都未来まちづくりプランの説明や左京区役所移転問題などぼくが1時間ほど喋って意見交換。また銀杏など街路樹の剪定の是非についてみなさんのご意見を伺う。これからも各所で市政懇談会を開催していこう。

12月7日(日)

初冬の陽射しが暖かい日曜日。吉田山は大元宮から宗忠神社を通過して真如堂に。紅葉も終わりがけ、本堂は池のところにこの10月に「京都・映画誕生の碑」が建立された。1908年牧野省三監督が真如堂で日本の最初の映画「本能寺合戦」を撮影したのだそうだ。京都映画祭のプロデューサーで映画監督の中島貞夫さんがその碑の説明をしていただく。そして吉田山荘で世界連邦運動協会京都支部の集い。冒頭、協会の顧問、品川登美さんがご高齢にもかかわらず元気に世界連邦運動にかける思いを語られた。そして「映画から見た京都の歴史と文化」と題して中島監督が講演。牧野省三氏の尽力により、日本の映画の歴史は京都から始まる。戦前から戦後の映画づくりからまたこれからのメディア論まで大学での講義を聴いている感じ。色々なエピソードが語られたが、京都には時代劇に必要な衣装や小道具を作る伝統産業があったからこそ映画づくりができた。京都での文化としての映画の復興を期待したい。京都市も応援しないとイケないね。学生時代、中島監督のヤクザ映画を見てデモに行っていた。最近は映画を見なくなったな。見に行こう！

夕方、昨日に続いて、聖護院や岡崎の一部を市民派議員レポートと明日の市政懇談会の案内ビラ配り。ええ運動だ。日が暮れるのが早くて、郵便ポストが分らないところもありちょっと苦戦したところもあったが、こうして地域を歩くことが議員活動の基本や。これからも地域を歩こう。

1 2月6日（土）

普通決算特別委員会も終わり、ちょっと一息。ちょっと風が冷たいが好天の土曜日。昼、岡崎公園は「みやこめっせ」での京都市障害者福祉大会・福祉総合展「ふくふくフェスタ」に。各作業所やボランティア団体が製品の販売やコーナーを設けて交流の1日。福祉団体の友人等に会い、ご挨拶。

午後は、明後日の8日（月）の午後7時から須賀神社で久しぶりの鈴木マサホ市政懇談会を開催するので、その案内のビラと市民派議員レポートをもって聖護院学区を友人に手伝ってもらって個別配布。寒いのにご苦労さん、と声をかけていただくと嬉しいね。ぜひ来てね。歩くのが苦になったら、もうあかんやろね。寒かったけれど汗も出てきて気持ちが良い。これからも地域をたまに歩かないと。それにしても日が暮れのが早い。もうすぐ冬至か。

1 2月5日（金）

午前10時から普通決算特別委員会の総括質疑。第2会議室に第1、2分科会の委員が全員揃い、市長と3人の副市長が答弁者。午前中は門川市長が自ら答弁に立つのが恒例。事前に質問が通告されているのでそれなりの心の準備は出来ているだろうが、インターネットで中継もされるので本会議とまた違う緊張感がある。自民、共産、民主、公明の会派順で、ひとり20分の持ち時間。わが民主は、藤川、青木、中野、鈴木順番。ぼくは18番目のバッターで午後5時過ぎに質疑。

まずは、局別審議を踏まえて「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例」いわゆる行政評価条例が共産党は反対したが可決、昨年6月施行され、政策評価、事務事業評価、公共事業評価が実施されているのでその成果について質疑。他の

政令指定都市で条例化しているのは神戸と京都だけで、議会に報告もしていないところある。「狸」を登場させて「成功裡」と掛け合わせたマンガで説明したパンフは面白いよ。また昨年2月市会で可決された新景観条例は9月に施行されたが、他の委員は誰も取り上げなかったので、8項目の付帯決議のその後の取り組み状況や京都らしい屋外広告物のあり方、マンション住民への不安の解消など今後の課題について答弁を求めた。また「赤福」などの食品偽装問題や中国ギョウザ事件の問題を踏まえて、食の安心・安全の取り組みと条例化について質疑し、さらに危機管理として新型インフルエンザ対策への万全の取り組みを要望。そして時間がほとんどなくなってしまったが、門川市長になって、「環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議」や「同和行政終結後の行政のあり方総点検委員会」など市民参加の懇談会が設置されているが、議論されている中味など審議状況を市会へ報告をするべしと要請。もうちょっと議論したかった。時間切れで残念。各委員は、金融不安に発した不況下における経済対策や介護など福祉や

高速道路、財政や環境、防災など市民生活の直結する京都市の諸課題について質疑がされた。保育行政のことでは、3年間は保育料の値上げはないが、プール制の見直しが表明されたことが、夕刊に大きく載った。今後大きな議論が呼ぶだろう。21人の委員が質疑に立ち、終わったのは6時を過ぎていた。お疲れさんでした。

12月4日（木）

普通決算特別委員会は明日の市長総括質疑を控えて理事者が各委員の予定質問についての勉強会を開くので、休会。ちょっとゆっくり。タイミングよくマッサージ師の友人が事務所に来室。体をほぐしてもらおう。この間、委員会で座ったままの姿勢でい

るので腰に疲れが溜まっていた。随分楽になった。山形さん、ありがとう。事務所で明日の市長総括がインターネット中継されるのでそのお知らせの案内と市政懇談会のお知らせのメールニュースを送ったり、質疑を控えて資料を読んだりで質問のメモ作り。あれも言いたい、これも言いたいと思うが、答弁を含めて20分ほどの限られた時間の中でのやりとりだから作戦を考える。夕方とはある相談ごとと、それからとある NPO 団体の一員として毎週末に農業に携わっている人と畑仕事の苦労や収穫の喜びなどを聞き、農業や食料の安全について考える。いちど訪ねたいね。都市住民がいかに農に親しむ仕組みを作るのか、京都市では市民農園を開設しているが、団塊の世代の退職後の受け皿として、工夫が必要かな。

12月3日（水）

普通決算特別委員会の7日目。他都市では実施されていない書類調査の日、普通決算特別委員会の第1、第2分科会の委員全員が第2会議室に揃う。卓上に各局の支出命令書と歳入還付命令書、振り替え命令書がどーんと置かれていて、その書類を見る作業。第5会議室には教育委員会の書類、第3会議室には各小中学校の需用費などの書類が置かれている。それぞれ全てをチェックするわけにはいかないが、ぼくも領収書など貼り付けた支出命令書に目を通す。給与を差し押さえされている職員のことや分ったり、旅費のことや放置自動車のリサイクル処理の方法や教職員の研修のあり方、同和地区のコミュニティセンターでの事業内容や学習施設における図書購入のことなど気になることを経理担当者に質問をすると、さらに各局の担当者が説明をしてくれる仕組み。書類を会議室に運び込むのもたいへんだが、この議会が書類調査をする意義は大きい。

夕方、部落解放同盟田中支部の若いメンバーが、自立促進援助金の返還のことで要望書を持って来室。来週9日の常任委員会「くらし環境委員会」で議案が質疑されることになっているが、ぼくはこの委員会に所属していないので議論できないのが残念。94年と96年の5月市会で同和問題について本会議で質問に立ったときの議事録を手渡し、コミュニティセンターのことなども色々と懇談。その後、とある高齢者福祉介護施設の事務局のメンバーと諸々のことについて懇談。

12月2日（火）

普通決算特別委員会の6日目。第二分科会局別審議の最後は消防局。京都市の火災件数は、目標220件においでいる。11月30日現在184件、目標達成なりそうだ！快挙達成なるか！また大都市では、人口一人当たり火災件数は1・6。これはすごい数字なのだ。これも消防局と地域に根ざした消防団の活動のお陰で、さらに自主防災会など市民の地域力が京都の防災・防火のまちづくりを支えている。各委員から消防団の充実やAEDの設置状況とその効果、住宅用火災警報器設置状況、火災の傾向、耐震化、救急体制や文化財火災予防など色々な視点での質疑がされた。ぼくは阪神大震災から13年、その後の自助、公助、共助の視点での取り組みと防災危機管理について、そして新型インフルエンザ対策について特に救急隊の役割と装備、各行政区学区で行われている防災訓練の成果について、また07年から始まった学生消防サポーター制度の現状と消防団への学生加入、緊急発着用のヘリポートのあり方について質疑をした。

昼休みには、「京都今出川通りにLRTの実現を推進する会」の会長、元市会議員の国枝克一郎さんが、提言書「京都・今出川通りにLRTの導入をめざして」をもつ

てこられた。ぼくは「京都今出川通りに LRT の実現を推進する会」の相談役ということで、シンポジウムに参加したり、夢を追っているひとり。京都大学大学院の学生たちのプロジェクトチームが提言をまとめてくれた。御所や北野神社前を走る LRT のイメージ写真を見たらワクワクする。

またいつれこの提言書については解説をしたい。

12月1日（月）

普通決算特別委員会の5日目。建設局との質疑。冒頭、建設局長より職員がアルバイトをしていたということで処分した不祥事のこと陳謝。決算の説明の後、各委員から、街路維持、緑化計画、コスト削減、水共生プラン、自転車対策、稲荷山トンネル、高速道路、交通安全対策、公園のあり方、街路樹の剪定、橋梁の耐震調査など16人が夕方6時前まで質疑。ぼくは20分ほどの時間で、公共事業評価の意義、過日、読売テレビの日曜日の夜の番組「おおさかほんわかテレビ」で紹介されていた「酷道」のことに引っ掛けて、北山は一般国道367号線の大原小出石から百井そして花背へ抜ける山岳道路、国道477号のこと、ネットで「酷道」を調べるとランキングに入っているのだ。また白紙撤回された「大見総合公園計画」と北部周辺整備事業のその後、また土木事務所のあり方や今年開通した新十条通・稲荷山トンネルの料金問題と高速道路のことについて質疑をした。

ところで、京都の幹線道路の銀杏やプラタナスの街路樹の剪定、枝切りについてどう思われますか？道路沿いの人には落ち葉の掃除がたいへんで、スリップして事故にもなる可能性もある。一方で晩秋の黄色に染まった京都の町並みの風情を残したいし、木も可哀想やないかという意見もあり担当者はジレンマや。あなたのご意見は

どうですか！